

集団かぜ発生状況(令和2年2月5日) (NO. 40)

県内の集団かぜの発生状況は、次のとおりです。

1 初発施設における本日の措置状況 (令和2年2月5日(水)措置分)

- | | |
|-----------|------|
| (1) 初発施設数 | 3 施設 |
| (2) 患者数 | 37 名 |
- 施設別の発生状況 裏面のとおり

2 初発施設における現在までの措置状況(累計)

- | | | |
|-----------|------|---------|
| (1) 発生施設数 | | |
| 措置状況 | 休校 | 4 施設 |
| | 学年閉鎖 | 51 施設 |
| | 学級閉鎖 | 54 施設 |
| | 計 | 109 施設 |
| (2) 患者数 | | 1,770 名 |
| 在籍者数 | | 4,378 名 |

注:同一施設で措置を変更した場合は、休校、学年閉鎖、学級閉鎖の措置の規模の大きい方に変更してあります。

注:患者数及び在籍者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計

3 既発施設における本日の措置状況 裏面のとおり

(参考1)

集団かぜの発生状況は、インフルエンザ様疾患(※)による欠席等により、学級閉鎖等の措置をとった場合の報告です。

※ インフルエンザ様疾患:38度以上の発熱かつ急性呼吸器症状(鼻汁若しくは鼻閉、咽頭痛、咳のいずれか1つ以上)を呈した場合をいう。

(参考2)

インフルエンザの予防のために

- ① 流行前のワクチン接種
- ② 咳エチケット
 - 咳・くしゃみの際にはティッシュなどで口と鼻を押さえ、他の人から顔をそむけ1m以上離れる。
 - 呼吸器系分泌物(鼻汁・痰など)を含んだティッシュをすぐに蓋付きの廃棄物箱に捨てられる環境を整える。
 - 咳をしている人にマスクの着用を促す。
 - マスクの装着は説明書をよく読んで、正しく着用する。
- ③ 外出後の手洗い
- ④ 室内の適度な湿度の保持(50~60%)
- ⑤ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑥ 人混みや繁華街への外出を控える

石川県ホームページの「季節性インフルエンザについて」に、予防情報等を掲載しています。

施設別発生状況

初発施設における本日の措置状況

(令和2年2月5日措置分)

	施設名	所在地	措置を取ったクラスの状況				備考
			学年・クラス名	在籍者数(人)	患者数(人)	措置(期間)	
1	川北町立 ^{カワキタ} 川北小学校	川北町壺ツ屋	2年 1年1組	52	21	学年閉鎖 (2/5~6)	2年生は全1クラス 1年生は全2クラス
2	能美市立 ^{ミヤタケ} 宮竹小学校	能美市宮竹町	4年	16	5	学年閉鎖 (2/5~6)	4年生は全1クラス
3	能美市立 ^{ネアガリ} 根上中学校	能美市浜町	2年2組	31	11	学級閉鎖 (2/5~7)	2年生は全5クラス
	計 3 施設			99	37		

既発施設における本日の措置状況

(令和2年2月5日措置分)

区分	施設名
休校 (0 施設)	
学年閉鎖 (3 施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・羽咋市立瑞穂小学校(2年) ・羽咋市立邑知中学校(2年) ・宝達志水町立樋川小学校(4年)
学級閉鎖 (1 施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・小松市立串小学校(3年1組)